秋 田 県

土木工事共通仕様書

令和８年１０月１日以降適用

品質管理基準

【 港 湾 編 】

赤字：秋田県独自項目

青字：今 回 改 訂 部 分

（R8.10.1 改訂）

港湾工事品質管理基準

目　次

１．土
　１－１　一般事項 …… 1

２．石材等
　２－１　砂 …… 2
　２－２　砂利・砕石 …… 2
　２－３　石 …… 3

３．骨　材
　３－１　セメントコンクリート用骨材 …… 4
　３－２　路盤材 …… 5
　３－３　アスファルトコンクリート用骨材 …… 5
　３－４　フィラー …… 6
　３－５　安定処理路盤材 …… 6

４．木　材
　４－１　一般事項 …… 7

５．鋼　材
　５－１　鋼矢板及び鋼杭 …… 8
　５－２　鋼板及び形鋼等 …… 8
　５－３　棒　鋼 …… 9
　５－４　控　工 …… 10
　５－５　コンクリート舗装用鋼材 …… 11

６．セメント及び混和材料
　６－１　セメント …… 12
　６－２　混和材料 …… 12
　６－３　コンクリート用水 …… 12

７．セメントコンクリート製品
　７－１　一般事項 …… 13

８．瀝青材料
　８－１　舗装用アスファルト材 …… 14
　８－２　プライムコート及びタックコート …… 14

９．芝・樹木等
　９－１　芝及び種子 …… 15
　９－２　植木等 …… 15

10. 目地材料
10－１　目地材 ･･ 16
10－２　コンクリート舗装用目地材 ･･････････････････････････ 16

11. 防食材料
11－１　アルミニウム合金陽極 ･･･････････････････････････ 17
11－２　防食塗装 ･･････････････････････････････････････ 17
11－３　被覆防食材料 ･･･････････････････････････････････ 17

12. 防舷材
12－１　ゴム防舷材 ････････････････････････････････････ 18

13. 係船柱
13－１　係船柱 ･･････････････････････････････････････ 18

14. 車止め・縁金物
14－１　車止め・縁金物 ･･････････････････････････････ 19

15. マット
15－１　アスファルトマット ･･････････････････････････････ 20
15－２　繊維系マット ･････････････････････････････････････ 20
15－３　合成樹脂系マット ･････････････････････････････････ 20
15－４　ゴムマット ･･････････････････････････････････････ 21

16. コンクリート
16－１　レディーミクストコンクリート ････････････････････････ 22
16－２　コンクリートミキサー船 ･･････････････････････････････ 23
16－３　現場練りコ ンクリート ･･･････････････････････････････ 23
16－４　暑中コンクリート ･･････････････････････････････････ 25
16－５　寒中コンクリート ･･････････････････････････････････ 25

16－６　水中コンクリート ･･････････････････････････････････ 25
16－７　袋詰コンクリート ･･････････････････････････････････ 25
16－８　水中不分離性コンクリート ････････････････････････････ 25
16－９　プレパックドコンクリート ････････････････････････････ 25
16－10　コンクリート舗装 ･･････････････････････････････････ 25

17. アスファルトコンクリート
17－１　アスファルト舗装 ･･････････････････････････････････ 26

18. その他
18－１　ペーパードレーン ･･･････････････････････････････････ 27
18－２　路盤紙 ･･･ 27
18－３　防砂目地板 ･･ 27
18－４　区画線及び道路標示 ････････････････････････････････ 27
18－５　道路標識 ･･ 27
18－６　防護柵 ･･･ 27

18－７　溶接材　……………………………………………… 28
18－８　ガス切断材　…………………………………… 28
18－９　汚濁防止膜　…………………………………… 28

［参　考］

様式・品質 3-1　; 骨材のふるい分け試験(JIS A 1102)　…… 29
様式・品質 12-1　; 防舷材形状管理表(例)　……………… 31
; (別紙)防舷材形状測定箇所(例)　………… 32
様式・品質 16-1　; コンクリート試験成績表(試験練用)　…… 35
様式・品質 16-2　; コンクリート強度(圧縮 曲げ)管理表　…… 37
様式・品質 16-3　; コンクリート強度(圧縮 曲げ)管理図　…… 39

1. 土

1-1 一般事項

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）埋立材	材　質	種　類	観　察	図面及び特記仕様書による。	施工中適宜		
		品　質	図面及び特記仕様書による。	図面及び特記仕様書による。	搬入前、採取地毎に１回	図面及び特記仕様書による。	
2）裏埋材 3）盛土材	材　質	種　類	観　察	図面及び特記仕様書による。	施工中適宜		
		品　質	図面及び特記仕様書による。	図面及び特記仕様書による。	搬入前、採取地毎１回	試験成績表を提出	
4）路床材	材　質	外　観	観　察	図面及び特記仕様書による。	搬入時、施工中適宜		
		粒　度	JIS A 1204	図面及び特記仕様書による。	搬入前、採取地毎に１回	試験成績表を提出	
		含水量	JIS A 1203	図面及び特記仕様書による。	搬入前、採取地毎に１回	試験成績表を提出	
		塑性指数(425μmふるい通過分)	JIS A 1205	図面及び特記仕様書による。	搬入前、採取地毎に１回	試験成績表を提出	
	修正CBR	必要な値を満足していること。	舗装施工便覧	図面及び特記仕様書による。	搬入前、採取地毎に１回	試験成績表を提出	
	突固め	最大乾燥密度、最適含水比	JIS A 1210　(C,D,E)	図面及び特記仕様書による。	搬入前、採取地毎に１回	試験成績表を提出	
	締め固め	締め固め密度	含水量試験JIS A 1203 CBR 試験又は平板載荷試 験JIS A 1211、JIS A 1215 締固め密度JIS A 1214	図面及び特記仕様書による。	1,000m^2に１箇所	記録紙及び管理表を作成し提出	
5）採取土	材　質	種　類	観　察	図面及び特記仕様書による。	施工中適宜		
		外　観	観　察	図面及び特記仕様書による。	施工中適宜		
		品　質	図面及び特記仕様書による。	図面及び特記仕様書による。	搬入前、採取地毎に１回	図面及び特記仕様書による。	

2. 石材等

2-1 砂

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）敷　砂 2）改良杭材 3）置換材	材　質	外観	観察	異物の混入のないこと。	施工中適宜		
		種類、品質及び粒度	JIS A 1102 JIS A 1204	図面及び特記仕様書による。	搬入前、採取地毎に１回	試験成績表を提出	
		シルト以下の細粒含有率	図面及び特記仕様書による。	図面及び特記仕様書による。	図面及び特記仕様書による。	試験成績表を提出	
4）中詰砂	材質	種類	観察	図面及び特記仕様書による。	施工中適宜		
		外観	観察	異物の混入のないこと。	施工中適宜		
		最大粒径	観察	図面及び特記仕様書による。	施工中適宜		
		単位体積重量	観察	図面及び特記仕様書による。	搬入前、採取地毎に１回	試験成績表を提出	湿潤又は飽和状態の材料について単位体積重量を確認する。
5）載荷材	材質	外観	観察	異物の混入のないこと。	施工中適宜		
		種類、品質及び粒度	JIS A 1102 JIS A 1204	図面及び特記仕様書又はJIS の規定による。	搬入前、採取地毎に１回	試験成績表を提出	
		単位体積重量	図面及び特記仕様書による。	図面及び特記仕様書による。	搬入前、採取地毎に１回	試験成績表を提出	湿潤又は飽和状態 材料について単位体積重量を確認する。

2-2 砂利・砕石

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）砕　石	材　質	外　観	観　察	異物の混入のないこと。	施工中適宜		
		粒　度	JIS A 1102 JIS A 1204	図面及び特記仕様書による。	搬入前産地毎に１回	試験成績表を提出	
		比　重	JIS A 1110	図面及び特記仕様書による。	搬入前産地毎に１回	試験成績表を提出	
		吸水量	JIS A 1110	図面及び特記仕様書による。	搬入前産地毎に１回	試験成績表を提出	

2-3 石

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）石	材　質	外　観	観　察	■第2編 2-2-2-2による。	施工中適宜		
		石の種類	観　察	図面及び特記仕様書による。	施工中適宜		
		比　重	JIS A 5006	図面及び特記仕様書による。	産地毎に１回	試験成績表を提出	石質の変化がない場 合は１年以内の試験 成績表とする。
		規定外質量の比率	観　察	図面及び特記仕様書及びJIS A 5006による。	施工中適宜		

3. 骨　材

3-1 セメントコンクリート用骨材

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）JISマーク表示認証工場製品	骨材	使用材料の品質の確認	製造工場の試験成績表により確認	JISマーク表示認証工場製品以外・現場練りコンクリートを適用する。	製造前及び使用材料の変更時	試験成績表を提出	JIS A 5308 参照
2）JISマーク表示認証工場製品 以外・現場練りコンクリート	骨材	種類及び粗骨材の最大寸法	観察	図面及び特記仕様書による。 JIS A 5005 JIS A 5011-1 JIS A 5011-2 JIS A 5011-3 JIS A 5011-4	搬入時適宜		
		粒度	JIS A 1102	■第2編 表2-2-2及び表2-2-3	配合設計前	試験成績表を提出	様式・品質3-1参照
		比重及び吸水量（細骨材）	JIS A 1109	JIS A 5005 JIS A 5011-1 JIS A 5011-2 JIS A 5011-3 JIS A 5011-4	配合設計前	試験成績表を提出	様式・品質3-1参照
		比重及び吸水量（粗骨材）	JIS A 1110	JIS A 5005 JIS A 5011-1 JIS A 5011-2 JIS A 5011-3 JIS A 5011-4	配合設計前	試験成績表を提出	様式・品質3-1参照
		粘土塊含有量	JIS A 1137	砂利 ： 0.25%以下 砂 ： 1.0%以下	配合設計前	試験成績表を提出	
		微粒分量試験で失われる量	JIS A 1103	砂利 ： 1.0%以下 砂 ： 3.0%以下	配合設計前	試験成績表を提出	
		塩化物量	JIS A 5308 附属書A JIS A 5002	砂 ： 0.04%以下	配合設計前	試験成績表を提出	
		有機不純物の量（細骨材）	JIS A 1105	砂 ： 標準色液の色よりも濃くないこと	配合設計前	試験成績表を提出	コンクリート標準示方書参照
		安定性（耐久性）	JIS A 1122		配合設計前	試験成績表を提出	砕砂、砕石等、JIS 規格のあるもの以外 の骨材については、 コンクリート標準示 方書参照
		骨材のアルカリシリカ反応（化学法）	JIS A 1145	無　害	配合設計前	試験成績表を提出	２法のうち、いずれかを選び試験する。
		骨材のアルカリシリカ反応(モルタルバー法)	JIS A 1146	無　害	配合設計前	試験成績表を提出	
		海砂の塩分含有量	JIS A 5308 附属書A JIS A 5002	鉄筋コンクリートの場合は、細骨材の絶 乾質量に対し、NaCl に換算して0.1%以下	配合設計前	試験成績表を提出	
		すりへり減量（舗装用粗骨材）	JIS A 1121		配合設計前	試験成績表を提出	砕石等、JIS 規格のあるもの以外の骨材 については、コンク リート標準示方書参照

3-2 路盤材

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）下層路盤材 (砕石、切込砕石、砂利及び切込砂利)	材質	外観	観察	図面及び特記仕様書による。	搬入時、施工中適宜		
		粒度	JIS A 1102 JIS A 1204	図面及び特記仕様書による。	搬入前、採取地毎１回	試験成績表を提出	
		含水量	JIS A 1203	図面及び特記仕様書による。	搬入前、採取地毎１回	試験成績表を提出	
		塑性指数(425μmふるい通過分)	JIS A 1205	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装６以下 ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装６以下	搬入前、採取地毎１回	試験成績表を提出	
	修正CBR	必要な値を満足していること。	舗装施工便覧	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装20%以上 ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装20%以上	搬入前、採取地毎１回	試験成績表を提出	
	突固め	最大乾燥密度、最適含水比	JIS A 1210 (C,D,E)	図面及び特記仕様書による。	搬入前、採取地毎１回	試験成績表を提出	
	締め固め	締め固め密度	含水量試験JIS A 1203 CBR 試験又は平板載荷試 験 JIS A 1211、JIS A 1215 締固め密度JIS A 1214	図面及び特記仕様書による。	1,000m^{2}に１箇所、ただし施工面積が 1,000m^{2}以下のものは１工事当たり１箇所以上	記録紙及び管理表を作成し提出	
2）上層路盤材（粒度調整材）	材質	外観	観察	図面及び特記仕様書による。	搬入時、施工中適宜		
		粒度	JIS A 1102 JIS A 1204	■第3編　表3-2-21	搬入前、採取地毎１回	試験成績表を提出	
		含水量	JIS A 1203	図面及び特記仕様書による。	搬入前、採取地毎１回	試験成績表を提出	
		塑性指数(425μmふるい通過分)	JIS A 1205	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装４以下 ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装４以下	搬入前、採取地毎１回	試験成績表を提出	
	修正CBR	必要な値を満足してること。	舗装施工便覧	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装80%以上 ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装80%以上	搬入前、採取地毎１回	試験成績表を提出	
	突固め	最大乾燥密度、最適含水比	JIS A 1210 (C,D,E)	図面及び特記仕様書による。	搬入前、採取地毎１回	試験成績表を提出	
	締め固め	締め固め密度	含水量試験JIS A 1203 CBR 試験又は平板載荷試 験JIS A 1211、JIS A 1215 締固め密度JIS A 1214	図面及び特記仕様書による。	1,000m^{2}に１箇所、ただし施工面積が 1,000m^{2}以下のものは１工事当たり１箇所以上	記録紙及び管理表を作成し提出	

3-3 アスファルトコンクリート用骨材

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）アスファルトコンクリート用骨材	材質	種類及び最大粒径	観察	図面及び特記仕様書による。	搬入時適宜		
		粒度	JIS A 1102 JIS A 1204 JIS A 5001 JIS A 5008	■第3編　表3-2-25	当初及び変動が認められる場合	試験成績表を提出	
		比重及び吸水量	JIS A 1109 JIS A 1110	図面及び特記仕様書による。	当初及び変動が認められる場合	試験成績表を提出	
		粗骨材のすりへり減量	JIS A 1121	図面及び特記仕様書による。	当初及び変動が認められる場合	試験成績表を提出	

3-4 フィラー

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）フィラー	材質	種類及び最大粒径	観察	図面及び特記仕様書による。	搬入時適宜		
		粒度	JIS A 1102 JIS A 1204 JIS A 5001 JIS A 5008	■第2編　表2-2-13	当初及び変動が認められる場合	試験成績表を提出	

3-5 安定処理路盤材

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）セメント安定処理路盤	材　料						6-1セメントを適用する。
	配　合	配合試験	図面及び特記仕様書による。	図面及び特記仕様書による。	配合毎	図面及び特記仕様書による。	
	粒　度	混合物の粒度試験	JIS A 1102	図面及び特記仕様書による。	図面及び特記仕様書による。	図面及び特記仕様書による。	
	締め固め	締め固め密度	締固め密度測定 JIS A 1214	図面及び特記仕様書による。	1,000m2に１箇 所、ただし施工面積が 1,000m2以下のものは１工事当たり１箇所以上	記録紙及び管理表を作成し提出	
	含水比	含水比試験	JIS A 1203	図面及び特記仕様書による。	図面及び特記仕様書による。	図面及び特記仕様書による。	
	セメント量	セメント量試験	舗装施工便覧	図面及び特記仕様書による。	図面及び特記仕様書による。	図面及び特記仕様書による。	
2）アスファルト安定処理路盤	締め固め	締め固め密度	舗装施工便覧	図面及び特記仕様書による。	1,000m2に１箇 所、ただし同一配合の合材100ｔ未満のものは１工事１回以上	記録紙及び管理表 を作成し提出	
	締め固め以外						17-1アスファルト舗装を適用する。

4. 木　材

4-1　一般事項

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）木　材	材　質	外観・種類	観　察	図面及び特記仕様書による。	施工中適宜		
		品　質	図面及び特記仕様書による。	図面及び特記仕様書による。	搬入前、施工中適宜	図面及び特記仕様書による。	

5. 鋼　材

5-1　鋼矢板及び鋼杭

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）鋼矢板	化学成分、機械的性質	JIS に適合していること。	製造工場の試験成績表(検査証明書)により確認	JIS A 5523 JIS A 5528	搬入時、ロット毎	試験成績表（検査証明書）を提出	
	外観	有害な傷、変形等がないこと。	観察	JIS A 5523 JIS A 5528	搬入時、全数		
	形状寸法	JIS 及び図面及び特記仕様書の形状寸法 に適合していること。	製造工場の試験成績表（検査証明書)により確認	JIS A 5523 JIS A 5528	搬入時	試験成績表（検査証明書）を提出	
2）鋼管矢板	本体の化学成分、機械的性質	JIS に適合していること。	製造工場の試験成績表（検査証明書)により確認	JIS A 5530	搬入時、ロット毎	試験成績表（検査証明書）を提出	
	外観	有害な傷、変形等がないこと。	観察	JIS A 5530	搬入時、全数		
	形状寸法	JIS 及び図面及び特記仕様書の形状寸法 に適合していること。	製造工場の試験成績表（検査証明書)により確認	JIS A 5530	搬入時	試験成績表（検査証明書）を提出	工場出荷時の測定表を含む
3）鋼管杭	本体の化学成分、機械的性質	JIS に適合していること。	製造工場の試験成績表（検査証明書)により確認	JIS A 5525	搬入時、ロット毎	試験成績表（検査証明書）を提出	
	外観	有害な傷、変形等がないこと。	観察	JIS A 5525	搬入時、全数		
	形状寸法	JIS 及び図面及び特記仕様書の形状寸法 に適合していること。	製造工場の試験成績表（検査証明書)により確認	JIS A 5525	搬入時	試験成績表（検査証明書）を提出	工場出荷時の測定表を含む
4）H形鋼杭	化学成分、機械的性質	JIS に適合していること。	製造工場の試験成績表（検査証明書)により確認	JIS A 5526	搬入時、ロット毎	試験成績表（検査証明書）を提出	
	外観	有害な傷、変形等がないこと。	観察	JIS A 5526	搬入時、全数		
	形状寸法	JIS 及び図面及び特記仕様書の形状寸法 に適合していること。	製造工場の試験成績表（検査証明書)により確認	JIS A 5526	搬入時	試験成績表（検査 証明書）を提出	

5-2 鋼板及び形鋼等

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）鋼板、形鋼等	化学成分、機械的性質	JIS に適合していること。	製造工場の試験成績表(検査証明書)により確認	JIS G 3101	搬入時、ロット毎	試験成績表（検査証明書）を提出	
	外　観	有害な傷、変形等がないこと。	観　察	JIS G 3101	搬入時、全数又は結束毎		
	形状寸法	JIS 及び図面及び特記仕様書の形状寸法 に適合していると。	製造工場の試験成績表（検査証明書)により確認	JIS G 3192 JIS G 3193 JIS G 3194	搬入時	試験成績表（検査証明書）を提出	

5-3 棒　鋼

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）普通棒鋼	化学成分、機械的性質	JIS に適合していること。	製造工場の試験成績表により確認	JIS G 3112 JIS G 3101 JIS G 3117	搬入時、ロット毎	試験成績表（検査証明書）を提出	
			JIS G 3112 又は JIS G 3101 公的機関の試験成績表により確認	JIS G 3112 JIS G 3101 JIS G 3117		試験成績表を提出	製造工場の試験成績 表により確認できない場合
	外　観	有害な傷、変形等がないこと。	観　察	JIS G 3112 JIS G 3101	搬入時、全数又は 結束毎		
	形状寸法	JIS 及び図面及び特記仕様書の形状寸法 に適合していること。	製造工場の試験成績表（検査証明書)により確認	JIS G 3191 JIS G 3117	搬入時	試験成績表（検査証明書）を提出	
2）異形棒鋼	化学成分、機械的性質	JIS に適合していること。	製造工場の試験成績表（検査証明書)により確認	JIS G 3112 JIS G 3117	搬入時、ロット毎	試験成績表（検査証明書）を提出	
			JIS G 3112 公的機関の試験成績表により確認	JIS G 3112 JIS G 3117		試験成績表を提出	製造工場の試験成績 表により確認できない場合
	外　観	有害な傷、変形等がないこと。	観　察	JIS G 3112 JIS G 3117	搬入時、全数又は 結束毎		
	形状寸法	JIS 及び図面及び特記仕様書の形状寸法 に適合していること。	製造工場の試験成績表（検査証明書)により確認	JIS G 3191 JIS G 3117	搬入時	試験成績表（検査証明書）を提出	

5-4 控工

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）腹起し							5-2鋼板及び形鋼等を適用する。
2）タイロッド	本体・附属品の化学成分、機械的性質	（一般構造用圧延鋼材の場合）JIS に適合していること。	製造工場の試験成績表により確認	JIS G 3101	ロット毎	試験成績表（検査証明書）を提出	
		■（高張力鋼材の場合）　機械的性質は第4編 4-2-2-1に、化学成分は図面及び特記仕様書 及び承諾した規格に適合していること。	製造工場の試験成績表（検査証明書)により確認	■機械的性質は第4編 表2-1、化学成分 は図面及び特記仕様書及び承諾した規格とする。	ロット毎	試験成績表（検査証明書）を提出	
	外　観	有害な傷、変形等がないこと。	観　察	異常が認められないこと。	搬入時、全数		
	形状寸法	図面及び特記仕様書の形状寸法に適合し ていること。	製造工場の試験成績表（検査証明書)により確認	監督職員が承諾した図面	搬入時	試験成績表（検査証明書）を提出	
	組立引張試験	図面及び特記仕様書に適合していること。	図面及び特記仕様書による。	図面及び特記仕様書による。	図面及び特記仕様書による。	試験成績表を提出	
3）タイワイヤー	本体・附属品の化学成分、機械的性質	JIS に適合していること。	製造工場の試験成績表（検査証明書)により確認	JIS G 3502 JIS G 3536 JIS G 3506 JIS G 3521	ロット毎	試験成績表（検査証明書）を提出	
	被覆材	図面及び特記仕様書の規格に適合してい ること。	製造工場の試験成績表に より確認	JIS K 6922-2	ロット毎	試験成績表を提出	
	外　観	有害な傷、変形等がないこと。	観　察	異常が認められないこと。	搬入時、全数		
	形状寸法	図面及び特記仕様書の形状寸法に適合し ていること。	製造工場の試験成績表（検査証明書)により確認	監督職員が承諾した図面	搬入時	試験成績表（検査証明書）を提出	
	組立品引張試験	図面及び特記仕様書に適合していること。	図面及び特記仕様書による。	図面及び特記仕様書による。	図面及び特記仕様書による。	試験成績表を提出	

5-5 コンクリート舗装用鋼材

区 分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）コンクリート舗装用鋼材							
イ）ダウエルバー ロ）タイバー ハ）チェアー ニ）クロスバー							5-3棒鋼を適用する。
ホ）鉄網	化学成分、機械的性質	JIS に適合していること。	製造工場の試験成績表（検査証明書)により確認	JIS G 3551	搬入時、ロット毎	試験成績表（検査証明書）を提出	
			JIS G 3112、JIS G 3551 公的機関の試験成績表により確認	JIS G 3551		試験成績表を提出	製造工場の試験成績 表により確認できない場合
	外　観	有害な傷、変形等がないこと。	観　察	JIS G 3551	搬入時、全数又は 結束毎		
	形状寸法	JIS 及び図面及び特記仕様書の形状寸法 に適合していること。	製造工場の試験成績表（検査証明書)により確認	JIS G 3551	搬入時	試験成績表（検査証明書）を提出	

6. セメント及び混和材料

6-1 セメント

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）JISマーク表示認証工場製品	セメント	使用材料の品質の確認	製造工場の試験成績表により確認	JISマーク表示認証工場製品以外・現場練りコンクリートを適用する。	製造前及び使用材料の変更時	試験成績表を提出	JIS A 5308 参照
2）JISマーク表示 認証工場製品 以外・現場練り コンクリート	外　観	セメントの種類	観　察		搬入時適宜		
	化学成分	JIS に適合していること。	製造工場の試験成績表により確認	JIS R 5210 JIS R 5211 JIS R 5212 JIS R 5213 JIS R 5214	1箇月1回又は搬入の都度	監督職員が指示したとき試験成績表（検査証明書)を提 出	

6-2 混和材料

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）JISマーク表示認証工場製品	混和材料	使用材料の品質の確認	製造工場の試験成績表により確認	JISマーク表示認証工場製品以外・現場練りコンクリートを適用する。	製造前及び使用材料の変更時	試験成績表を提出	JIS A 5308 参照
2）JISマーク表示認証工場製品以外・現場練りコンクリート	化学成分	JIS 及び土木学会規準に適合していること。	製造工場の試験成績表により確認土木学会規準D.1	図面及び特記仕様書による。 JIS A 6201 JIS A 6202 JIS A 6204 JIS A 6206	1箇月1回又は搬入の都度	監督職員が指示したとき試験成績表（検査証明書)を提 出	

6-3 コンクリート用水

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）JISマーク表示認証工場製品	水	使用材料の品質の確認	製造工場の試験成績表により確認	JISマーク表示認証工場製品以外・現場練りコンクリートを適用する。	製造前及び使用材料の変更時	試験成績表を提出	JIS A 5308 参照
2）JISマーク表示認証工場製品以外・現場練りコンクリート(上水以外)	化学成分	コンクリートの強度に対する影響	JIS A 5308 附属書C	JIS A 5308 附属書C	配合設計前	試験成績表を提出	
		有害物の含有量	公的機関の試験成績表により確認	JIS A 5308 附属書C	配合設計前	試験成績表を提出	コンクリート標準示方書参照

7. セメントコンクリート製品

7-1 一般事項

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）コンクリート杭 2）コンクリート矢板 3）境界ブロック	外　観	有害な傷がないこと。	観　察	JIS A 5372 JIS A 5373	搬入時、全数		曲げ強さは試験成績表（検査証明書）で確認する。
	形状寸法	JIS 及び図面及び特記仕様書の形状寸法に適合していること。	製造工場の試験成績表（検査証明書)により確認	JIS A 5361 JIS A 5363 JIS A 5365		試験成績表（検査証明書）を提出	

8. 瀝青材料

8-1 舗装用アスファルト材

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）アスファルトコンクリート舗装用材(アスファルト)	化学成分	図面及び特記仕様書の品質であること。	石油アスファルトJIS K 2207又は製造工場の試験成績表により確認	針入度試験 JIS K 2207 軟化点試験 JIS K 2207 伸度試験 JIS K 2207 蒸発量試験 JIS K 2207 比重試験 JIS K 2249 セイボルトフロール度試験 舗装施工便覧 アスファルト乳剤の品質試験 JIS K 2208 クレオソート油加工エタール・タールピッチ試験方法 JIS K 2439 カットバックアスファルトの品質試験 ASTM D 2027 ASTM D 2028	当初及び製造工場又は規格の変化毎	試験成績表（検査証明書）を提出	

8-2 プライムコート及びタックコート

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）タックコート・プライムコート	化学成分	JIS 及び図面及び特記仕様書の形状寸法に適合していること。	製造工場の試験成績表により確認	JIS K 2208	搬入時適宜	試験成績表（検査証明書）を提出	

9. 芝・樹木等

9-1 芝及び種子

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）芝	土	性状が生育に適していること。	図面及び特記仕様書又は試験成績表により確認	■第3編 3-2-17-2又は図面及び特記仕様書による。	産地毎に１回	試験成績表を提出	
	芝	種類、品質が図面及び特記仕様書に適合 していること。	品質等証明書により確認	■第2編 2-2-9-1又は図面及び特記仕様書による。	産地毎に１回	品質等証明書を提出	
	肥料	種類、品質及び配合が図面及び特記仕様書に適合していること と。	種類、品質は品質等証明書により確認配合は図面及び特記仕様書 による。	図面及び特記仕様書による。	種類毎に１回	品質等証明書を提出	
2）種 3）播種子	土	性状が生育に適していること。	図面及び特記仕様書又は試験成績表により確認	■第3編 3-2-17-2又は図面及び特記仕様書による。	産地毎に１回	試験成績表を提出	
	種子	種類、品質及び配合が図面及び特記仕様書に適合していること。	種類、品質は品質等証明書により確認配合は図面及び特記仕様書による。	図面及び特記仕様書による。	種類毎に１回	品質等証明書を提出	
	肥料	種類、品質及び配合が図面及び特記仕様書に適合していること。	種類、品質は品質等証明書により確認　配合は図面及び特記仕様書による。	図面及び特記仕様書による。	種類毎に１回	品質等証明書を提出	
	土壌改良剤、養生剤	種類、品質が図面及び特記仕様書に適合していること。	品質等証明書により確認	図面及び特記仕様書による。	種類毎に１回	品質等証明書を提出	

9-2 植木等

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）樹　木 2）つる性植物 3）竹	土	性状が生育に適していること。	図面及び特記仕様書又は試験成績表により確認	■第3編 3-2-17-2又は図面及び特記仕様書による。	産地毎に１回	試験成績表を提出	
	樹　木	種類、品質が図面及び特記仕様書に適合していること。	図面及び特記仕様書による。	■第3編 3-2-17-2又は図面及び特記仕様書による。	種類毎に搬入後適宜	品質等証明書を提出	
	肥　料	種類、品質及び配合が図面及び特記仕様書に適合していること。	種類、品質は品質等証明書により確認配合は図面及び特記仕様書による。	図面及び特記仕様書による。	種類毎に１回	品質等証明書を提出	

10. 目地材料

10-1 目地材

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）目地材	材　質	種　類	観　察	図面及び特記仕様書による。	施工中適宜		
		品　質	図面及び特記仕様書による。	図面及び特記仕様書による。	搬入時、ロット毎	試験成績表（検査証明書）を提出	

10-2 コンクリート舗装用目地材

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）目地板	材　質	種　類	観　察	図面及び特記仕様書による。	施工中適宜		
		品　質	図面及び特記仕様書による。	図面及び特記仕様書による。	搬入時、ロット毎	試験成績表（検査証明書）を提出	
2）注入材	材　質	種　類	観　察		施工中適宜		
		品　質	図面及び特記仕様書による。		搬入時、ロット毎	試験成績表（検査証明書）を提出	

11. 防食材料

11-1 アルミニウム合金陽極

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）電気防食陽極	陽極の種類 化学成分	承諾した品質に適合していること。	製造工場の試験成績表(検査証明書)により確認	監督職員が承諾した図面	搬入前	試験成績表（検査証明書）を提出	
	形状寸法	承諾図等の形状寸法に適合していること。	製造工場の測定結果表により確認	監督職員が承諾した図面各陽極の形状寸法の許容範囲は±５％以内とする。	搬入前 陽極長さ：全数 陽極断面：製品1から5番目までの5個	工場の測定表を提出	
	質量	承諾した品質に適合していること。	製造工場の測定結果表により確認計量器により測定	各陽極の質量の許容範囲は±２％以内とし、取付総質量は陽極１個の標準質量の和を下回ってはならない。ただし、陽極１個の標準質量が30kg未満の陽極質量の許容範囲は±４％の範囲とする。	搬入前、全数搬入時、適宜	工場の測定表を提出	
	陽極性能	陽極電位（閉路電位）	製造工場の試験成績表により確認	-1,050mV以下（VS飽和甘こう電極(SCE)）	搬入前	試験成績表を提出	
		発生電気量	製造工場の試験成績表により確認	2,600A･h/kg以上	搬入前	試験成績表を提出	

11-2　防食塗装

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）塗装材	材　質	種　類	観　察	図面及び特記仕様書による。	施工中適宜		
		品　質	図面及び特記仕様書による。	図面及び特記仕様書による。	搬入時、ロット毎	試験成績表（検査証明書）を提出	

11-3　被覆防食材料

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）モルタル被覆	材　質	種　類	観　察	図面及び特記仕様書による。	施工中適宜		
		品　質	図面及び特記仕様書による。	図面及び特記仕様書による。	搬入時、ロット毎	試験成績表（検査証明書）を提出	
2）保護カバー	材　質	種　類	観　察	図面及び特記仕様書による。	施工中適宜		
		品　質	図面及び特記仕様書による。	図面及び特記仕様書による。	搬入時、ロット毎	試験成績表（検査証明書）を提出	

12. 防舷材

12-1 ゴム防舷材

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）ゴム防舷材	材質	ゴムの物理試験（引張試験、硬さ試験、老化試験等）による材質が第4編 表2-2に適合、かつ4-2-4-1 4. の耐久性試験を行ってもクラックや欠陥がないこと。	製造工場の試験成績表(検査証明書)により確 認。耐久性については、 ゴム防舷材耐久性証明事 業を実施する機関の証明 書により確認	第4編 表2-2 JIS K 6250 JIS K 6251 JIS K 6253-3 JIS K 6257 JIS K 6259 4-2-4-1 4. による。	製造前 ロットに使用した練りゴムより試料１セット	試験成績表（検査証明書）を提出。 耐久性については、ゴム防舷材耐久性証明事業を実施する機関の証明書を提出	
	性能	反力及び吸収エネルギー	図面及び特記仕様書による。 製造工場の試験成績表（検査証明書）により確認	図面及び特記仕様書による。	搬入前 10本に1本	試験成績表（検査証明書）を提出	
	外観	有害な傷等がないこと。	観　察	異常が認められないこと。	搬入時、適宜		
	形状寸法	長さ、幅、高さ、ボルトの穴径及び中心間隔等	製造工場の測定結果表に よりの確認	図面及び特記仕様書及び監督職員が承諾した詳細図等	搬入前、全数	工場の測定表を提出	製造工場の測定結果表により確認。様式・品質12-1は参 考。
2）取付金具	外観	有害な傷等がないこと。	観　察	異常が認められないこと。	搬入時、適宜		
	形状寸法	図面及び特記仕様書の形状寸法に適合していること。	観　察	図面及び特記仕様書及び監督職員が承諾した詳細図等	搬入時、適宜		

13. 係船柱

13-1 係船柱

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）係船柱	本体・付属品の化学成分、機械的性質	JIS の規定による。	製造工場の試験成績表(検査証明書)により確認	第4編 表2-3	１溶解毎	試験成績表（検査証明書）を提出	
	外　観	有害な傷、変形等がないこと。	観　察	異常が認められないこと。	搬入時、全数		
	形状寸法	図面及び特記仕様書の形状寸法に適合していること。	製造工場の測定結果表により確認	第4編 図5-1～5-3及び第4編 表5-1	搬入前、全数	工場の測定表を提出	

14. 車止め・縁金物

14-1 車止め・縁金物

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）鋼　製 （縁金物を含む）	本体、被覆材、付属品の化学成分、機械的性質	JIS の規定による。	製造工場の試験成績表 (検査証明書)により確認	第4編 表2-4	搬入前	試験成績表（検査証明書）を提出	
	外　観	使用上有害な反り、溶接部の不良個所等がないこと。	観　察	異常が認められないこと。	搬入時適宜		
	形状寸法	図面及び特記仕様書の形状寸法に適合し ていること。	製造工場の測定結果表により確認	図面及び特記仕様書による。	搬入前、全数	工場の測定表を提出	
2）その他 （縁金物を含む）	外　観	図面及び特記仕様書の形状寸法に適合し ていること。	製造工場の測定結果表に より確認	図面及び特記仕様書による。	搬入前	試験成績表（検査証明書）を提出	
	外　観	使用上有害な反り等がないこと。	観　察	異常が認められないこと。	搬入時適宜		
	形状寸法	図面及び特記仕様書の形状寸法に適合し ていること。	製造工場の測定結果表により確認	図面及び特記仕様書による。	搬入前、全数	工場の測定表を提出	

15. マット

15-1 アスファルトマット

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）アスファルトマット（洗掘 防止）	材質	合材の配合、合材の強度、アスファルトの針入度、マットの押抜き強度が図面及び特記仕様書に適合していること。	製造工場の試験成績表により確認	第4編 4-2-7-1又は図面及び特記仕様書による。	1,000m2に１回	試験成績表及び配合表を提出	17-1アスファルト舗装を適用する。
	外　観	補強材の種類は図面及び特記仕様書に適 合していること。	観　察	図面及び特記仕様書による。	搬入時、適宜		
	形状寸法	厚さ	スチールテープ等で測定	図面及び特記仕様書による。	20枚に１枚を２箇所	管理表を作成し提出	
		幅及び長さ	スチールテープ等で測定	図面及び特記仕様書による。	20枚に１枚を１箇所	管理表を作成し提出	
2）摩擦増大用マット	材質	合材の配合、合材の強度、アスファルトの針入度が図面及び特記仕様書に適合していること。	製造工場の試験成績表により確認	第4編 4-2-7-1又は図面及び特記仕様書による。	1,000m2に１回	試験成績表及び配合表を提出	17-1アスファルトマットを適用する。
	外質						15-1-1アスファルトマット（洗掘防止）を適用する。
	形状寸法						15-1-1アスファルトマット（洗掘防止）を適用する。

15-2 繊維系マット

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）繊維系マット	材質及び規格	伸び、引裂、引張強度等が図面及び特記仕様書に適合していること。	製造工場の試験成績表により確認	図面及び特記仕様書による。	搬入前、適宜	試験成績表を提出	引張試験JIS L 1908 引裂試験JIS L 1096

15-3 合成樹脂系マット

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）合成樹脂系マット	材質及び規格	伸び、引裂、引張強度、比重、耐海水引張強度等が図面及び特記仕様書に適合していること。	製造工場の試験成績表により確認	図面及び特記仕様書による。	搬入前、適宜	試験成績表を提出	引張試験JIS K 6723 引裂試験JIS K 6252 比重試験JIS K 7112 耐海水試験JIS K 6773

15-4 ゴムマット

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）ゴムマット	材質及び規格	硬度、伸び、引裂、引張強度等が図面及び特記仕様書に適合していること。	製造工場の試験成績表により確認	図面及び特記仕様書による。	搬入前、適宜	試験成績表を提出	引張試験JIS K 6251 引裂試験JIS K 6252
2）摩擦増大用マット	材質	図面及び特記仕様書による。	製造工場の試験成績表により確認	図面及び特記仕様書による。	図面及び特記仕様書による。	試験成績表を提出	
	形状寸法	図面及び特記仕様書による。	スチールテープ等で測定	図面及び特記仕様書による。	図面及び特記仕様書による。	管理表を作成し提出	

16. コンクリート

16-1 レディーミクストコンクリート

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）JISマーク表示認証工場製品	配　合	規定の品質が得られることの確認	レディーミクストコンクリート配合計画書の確認	JIS A 5308 及び図面及び特記仕様書による。	製造前及び使用材料の変更時	配合計画書を提出	
			配合設計の基礎となる資料の検討	JIS A 5308 及び図面及び特記仕様書による。	製造前及び使用材料の変更時	配合設計の基礎資料を提出	水セメント比の算定方法、配合修正の条件と方法
		試験練り	JIS A 1138 又はプラントによりコンクリートを製造し、スランプ、空気量、強度、塩化物量、その他の品質の確認		JISマーク表示認証 工場製品以外で監督職員が指示した 時	試験成績表を提出	様式・品質16-1参照
	スランプ	スランプ試験	JIS A 1115 JIS A 1101 荷卸し地点で採取、試験	スランプ区分 3cm未満 ： 許容範囲 ±1cm スランプ区分 3cm以上8cm未満 ： 許容範囲 ±1.5cm スランプ区分 8cm以上18cm以下 ： 許容範囲 ±2.5cm スランプ区分 18cmを超えるもの ： 許容範囲 ±1.5cm	供試体作成時	管理表を作成し提出 ただし、各々の試験結果報告書は、監督職員の請求があった場合に提示	様式・品質16-2参照
	沈下度	沈下度試験（舗装用コンクリートに適用）	土木学会規準「振動台式 ｺﾝｼｽﾃﾝｼｰ試験方法」	図面及び特記仕様書による。	供試体作成時	管理表を作成し提出	
	空気量	空気量試験	JIS A 1115 JIS A 1116 JIS A 1118 JIS A 1128 荷卸し地点で採取、試験	規定値に対する許容範囲は ± 1.5%	供試体作成時	管理表を作成し提出 ただし、各々の試験結果報告書は、監督職員の請求があった場合に提示	様式・品質16-2参照
	強　度	供試体の作成	JIS A 1115 JIS A 1132 荷卸し地点で作成		１日１回とし、１日の打設量が150ｍ３を超える場合は１日２回とする。ただし、同一配合の１日当り打設量が少量の場合は、監督職員の承諾を得て打設日数に関係なく100ｍ３ごとに１回とすることができる。		
		圧縮試験	JIS A 1108	１回の試験結果は、呼び強度（指定強度）の値の85%以上３回の試験結果の平均値は、呼び強度(指定強度)の値以上	供試体作成毎１回の試験は、３個の供試体の平均値とする。	管理表を作成し提出 ただし、各々の試験結果報告書は、監督職員の請求があった場合に提示	様式・品質16-2参照少量の場合は省略できる。
	強　度	曲げ試験	JIS A 1106	１回の試験結果は、呼び強度（指定強度）の値の85%以上３回の試験結果の平均値は、呼び強度(指定強度)の値以上	供試体作成毎１回の試験は、３個の供試体の平均値とする。	管理表を作成し提出	様式・品質16-2参照少量の場合は省略できる。

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）JISマーク表示認証工場製品	コンクリート温度	温度測定	供試体作成場所で測定	図面及び特記仕様書による。 5℃以上35℃以下	供試体作成毎	管理表を作成し提出	様式・品質16-2参照
			打設場所で測定	図面及び特記仕様書による。 5℃以上35℃以下			配合計画書の「指定事項」と対比
	単位水量						1日の使用量が100m3以上の場合、単位水量の測定を実施しなければならない。 測定方法は、添付資料「レディーミクストコンクリート単位水量測定要領(案)」によるものとする。
	塩化物含有量	塩化物量試験	JIS A 1115 JIS A 1144 又は、監督 職員の承諾する方法	JIS A 5308 による。	第1回コンクリート打設前及び使用材料の変更時	試験成績表を提出	無筋コンクリートで用心鉄筋が入らない構造物は全塩化物イオン量の制限はしない。

16-2 コンクリートミキサー船

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）コンクリートミキサー船							16-1レディーミクストコンクリートを適 用する。

16-3 現場練りコンクリート

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）現場練りコンクリート							
イ）配合指定	示方配合	試験練り	JIS A 1138 又はプラントによりコンクリートを製造し、スランプ、空気量、強度、塩化物量、その他の品質の確認		施工前1回	試験成績表を提出	様式・品質16-1参照 σ２８ は、配合強度を標準とする。
	現場配合	細骨材の表面水量	JIS A 1111 JIS A 1125		1日1回以上	試験成績表を提出	
		骨材の粒度	JIS A 1102	■第2編 表2-2-2及び表2-2-3	1日1回	試験成績表を提出	2-1砂を適用する。
	材料の計量	計量装置の精度バッチミキサ	静荷重試験		6箇月1回	検定合格証又は試験成績表（写）を提出	
		連続練りミキサ	キャリブレーション		工事開始前1回	各材料ごとのキャリブレーション結果を提出	
	材料の計量	計量誤差バッチミキサ	0点、設定針、表示針を観察、確認	第4編 表4-1	午前、午後の作業開始時		
			連続8バッチについて計 量時の指示値又は自動記 録を読み取る。	第4編 表4-1	1箇月1回	試験成績表を提出	
		連続練りミキサ	カウント数、表示針を観察、確認	第4編 表4-1	午前、午後の作業 開始時		
		練混ぜ性能バッチミキサ	JIS A 1119		6箇月1回	試験成績表を提出	コンクリート標準示 方書参照

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
イ）配合指定	練混ぜ	連続練りミキサ	土木学会規準「連続ミキサの練混ぜ性能試験方法」		工事開始前１回	試験成績表を提出	コンクリート標準示 方書参照
		練混ぜ時間バッチミキサ	時間測定	規定の時間以上及び同時間の３倍以下	午前、午後の作業開始時		
		外観、均一性、ワーカビリチー等	観　察		全バッチ		
	スランプ又は沈下度	スランプ試験	JIS A 1115 JIS A 1101 打設現場で採取、試験	スランプ区分 3cm未満 ： 許容範囲 ±1cm スランプ区分 3cm以上8cm未満 ： 許容範囲 ±1.5cm スランプ区分 8cm以上18cm以下 ： 許容範囲 ±2.5cm スランプ区分 18cmを超えるもの ： 許容範囲 ±1.5cm	供試体作成時	管理表を作成し提出	様式・品質16-2参照
		沈下度試験（舗装用コンクリートに適用）	土木学会規準「振動台式 コンシステンシー試験方法」		供試体作成時	管理表を作成し提出	
	空気量	空気量試験	JIS A 1115 JIS A 1116 JIS A 1118 JIS A 1128 打設現場で採取、試験	規定値に対する許容 範囲±1.5%	供試体作成時	管理表に記録提出	様式・品質16-2参照
	強　度	供試体の作成	JIS A 1115 JIS A 1132 打設現場で作成		１日１回とし、１日の打設量が150m３を超える場合は１日２回とする。ただし、同一配合の１日当り打設量が少量の場合は、監督職員の承諾を得て打設日数に関係なく100m３ごとに１回とすることができる。		
		圧縮試験	JIS A 1108	１回の試験結果は、指定強度の値の85%以上、３回の試験結果の平均値は、指定強度の値以上	供試体作成毎１回の試験は、３個の供試体の平均値とする。	管理表及び管理図を作成し提出	様式・品質16-2 、16-3参照少量の場合は省略できる。
		曲げ試験	JIS A 1106	１回の試験結果は、 指定強度の値の85% 以上、３回の試験結 果の平均値は、指定 強度の値以上	供試体作成毎１回の試験は、３個の供試体の平均値とする。	管理表及び管理図を作成し提出	様式・品質16-2 、16-3参照少量の場合 は省略できる。
	コンクリート温度	温度測定	供試体作成場所で測定、 打設場所で測定	図面及び特記仕様書による。	供試体作成毎	管理表を作成し提 出	様式・品質16-2参照
	塩化物含有量	塩化物量試験	JIS A 1115 JIS A 1144 又は、監督職員の承諾する方法	図面及び特記仕様書による。	第１回コンクリー ト打設前及び使用材料の変更時	試験成績表を提出	無筋コンクリートで用心鉄筋が入らない構造物は全塩化物イオン量の制限はしない。
ロ）品質指定							16-1レディーミクストコンクリートを適 用する。

16-4 暑中コンクリート

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）暑中コンクリート	水及び骨材の温度	温度測定	温度測定		随時		その他の項目は、レディーミクストコンクリート・現場練りコンクリートを適用する。
	コンクリート温度	温度測定	供試体作成場所で測定、打設場所で測定	図面及び特記仕様書による。暑中コンクリートは35℃以下	供試体作成毎	管理表を作成し提出	様式・品質16-2参照

16-5 寒中コンクリート

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）寒中コンクリート	水及び骨材の温度	温度測定	温度測定		随時		その他の項目は、レディーミクストコンクリート・現場練りコンクリートを適用する。
	コンクリート温度	温度測定	供試体作成場所で測定、打設場所で測定	図面及び特記仕様書による。寒中コンクリートは５℃～20℃	供試体作成毎	管理表を作成し提出	様式・品質16-2参照

16-6 水中コンクリート

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）水中コンクリート							16-1レディーミクストコンクリートを適 用する。

16-7 袋詰コンクリート

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）袋詰コンクリート							16-1レディーミクストコンクリートを適 用する。

16-8 水中不分離性コンクリート

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）水中不分離性コンクリート							16-1レディーミクストコンクリートを適 用する。

16-9 プレパックドコンクリート

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）プレパックドコンクリート							16-1レディーミクストコンクリートを適 用する。

16-10 コンクリート舗装

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）コンクリート舗装							16-1レディーミクストコンクリートを適 用する。

17. アスファルトコンクリート

17-1 アスファルト舗装

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）アスファルトコンクリート	配合設計	試験練り及びマーシャル試験	監督職員の承諾する方法により、図面及び特記仕様書の品質が得られることを確認	第4編 4-4-8-1又は図面及び特記仕様書による。	第4編 4-4-8-1による。	試験成績表及び配合表を提出	舗装撤去、復旧等簡易なものについては 監督職員の承諾を得 て省略することができる。
	材料の計量	計量機の検定					検定合格証（写）提出
		計量誤差			監督職員が必要と認めるとき測定		
		骨材の合成粒度（ホットビン）	JIS A 1102 JIS A 1204 現場配合決定時の粒度と対比		１日１回		
	混合物	ミキサ排出時の温度	温度測定	事前に監督職員に承諾を得た温度に対し±25℃かつ185 ℃以下	運搬車毎	適 宜	
		敷き均したときの温度（初転圧直前）	温度測定	110 ℃以上	運搬車毎ただし同 一配合の合材100ｔ 未満のものは１日 ２回（午前、午後）	管理図を作成し提出	
		安定度等	舗装施工便覧（マーシャル安定度試験方法）	第4編 4-4-8-1	１日１回	管理図を作成し提出	
		抽出アスファルト量	舗装施工便覧（アスファルト混合物の抽出試験方法）	舗装施工便覧	抽出試験１日１回 印字記録の場合 は、全数	管理図を作成し提出	
		粒　度	抽出ふるい分け試験又は印字記録	舗装施工便覧	抽出試験１日１回 印字記録の場合は、全数	管理図を作成し提出	
		コアによる密度の測定	舗装施工便覧（締め固めた瀝青混合物の密度試験方法）	基準密度の94%以上	1,000m2毎に１回	管理図を作成し提出	

18. その他

18-1 ペーパードレーン

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）ドレーン材	材　質	種　類	観　察	図面及び特記仕様書による。	施工中適宜	試験成績表を提出	
		品　質	図面及び特記仕様書による。	図面及び特記仕様書による。	搬入前に１回	管理表を作成し提出	

18-2 路盤紙

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）路盤紙	材　質	種　類	観　察	図面及び特記仕様書による。	施工中適宜		
		品　質	図面及び特記仕様書による。	図面及び特記仕様書による。	搬入前に１回	図面及び特記仕様書による。	

18-3 防砂目地板

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）防砂目地板	材　質	種　類	観　察	図面及び特記仕様書による。	施工中適宜		
		品　質	図面及び特記仕様書による。	図面及び特記仕様書による。	搬入前に１回	図面及び特記仕様書による。	

18-4 区画線及び道路標示

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）区画線及び道路標示	材　質	種　類	観　察	図面及び特記仕様書による。	施工中適宜		
		品　質	図面及び特記仕様書による。	■第2編 2-2-12-2及び2-2-12-3又は図面及び特記仕様書による。	搬入前に１回	図面及び特記仕様書による。	

18-5 道路標識

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）道路標識	材　質	種　類	観　察	図面及び特記仕様書による。	施工中適宜		
		品　質	図面及び特記仕様書による。	■第2編 2-2-12-1又は図面及び特記仕様書による。	搬入前に１回	図面及び特記仕様書による。	

18-6 防護柵

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）防護柵	材　質	種　類	観　察	図面及び特記仕様書による。	施工中適宜		
		JISに適合していること。	製造工場の試験成績表により確認	■第2編 2-2-5-16、2-2-5-17及び2-2-5-18又は図面及び特記仕様書による。	搬入前に１回	監督職員が指示したとき試験成績表（検査証明書）を提出	

18-7 溶接材

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）溶接材	材　質	種　類	観　察	図面及び特記仕様書による。	施工中適宜		
		JISに適合していること。	製造工場の試験成績表により確認	■第2編 2-2-5-7又は図面及び特記仕様書による。	搬入前に１回	監督職員が指示し たとき試験成績表（検査証明書）を提出	
	溶接部の強度	引張及び曲げ	JIS Z 3121、3131等公的機関の試験成績により確認	図面及び特記仕様書による。	図面及び特記仕様書による。	試験成績表（検査 証明書）を提出	
		非破壊試験	JIS Z 3104放射線透過 試験の他､図面及び特記仕様書による。	図面及び特記仕様書による。	図面及び特記仕様書による。	写真又はフィルムを提出	
			カラーチェック	図面及び特記仕様書による。	図面及び特記仕様書による。	写真を提出	

18-8 ガス切断材

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）ガス切断材	材　質	種　類	観　察	図面及び特記仕様書による。	施工中適宜		
		JISに適合していること。	製造工場の試験成績表により確認	JIS K 1101 酸素 JIS K 1902 溶解アセチレン 又は図面及び特記仕様書による。	搬入前に１回	監督職員が指示し たとき試験成績表（検査証明書）を提出	

18-9 汚濁防止膜

区　分	管理項目	管理内容	管理方法	品質規格	測定頻度	結果の整理方法	備　考
1）汚濁防止膜	材　質	種　類	観　察	図面及び特記仕様書による。	施工中適宜		
		品　質	図面及び特記仕様書による。	図面及び特記仕様書による。	搬入前に１回	図面及び特記仕様書による。	

骨材のふるい分け試験（ＪＩＳ　Ａ　１１０２）

様式・品質３－１

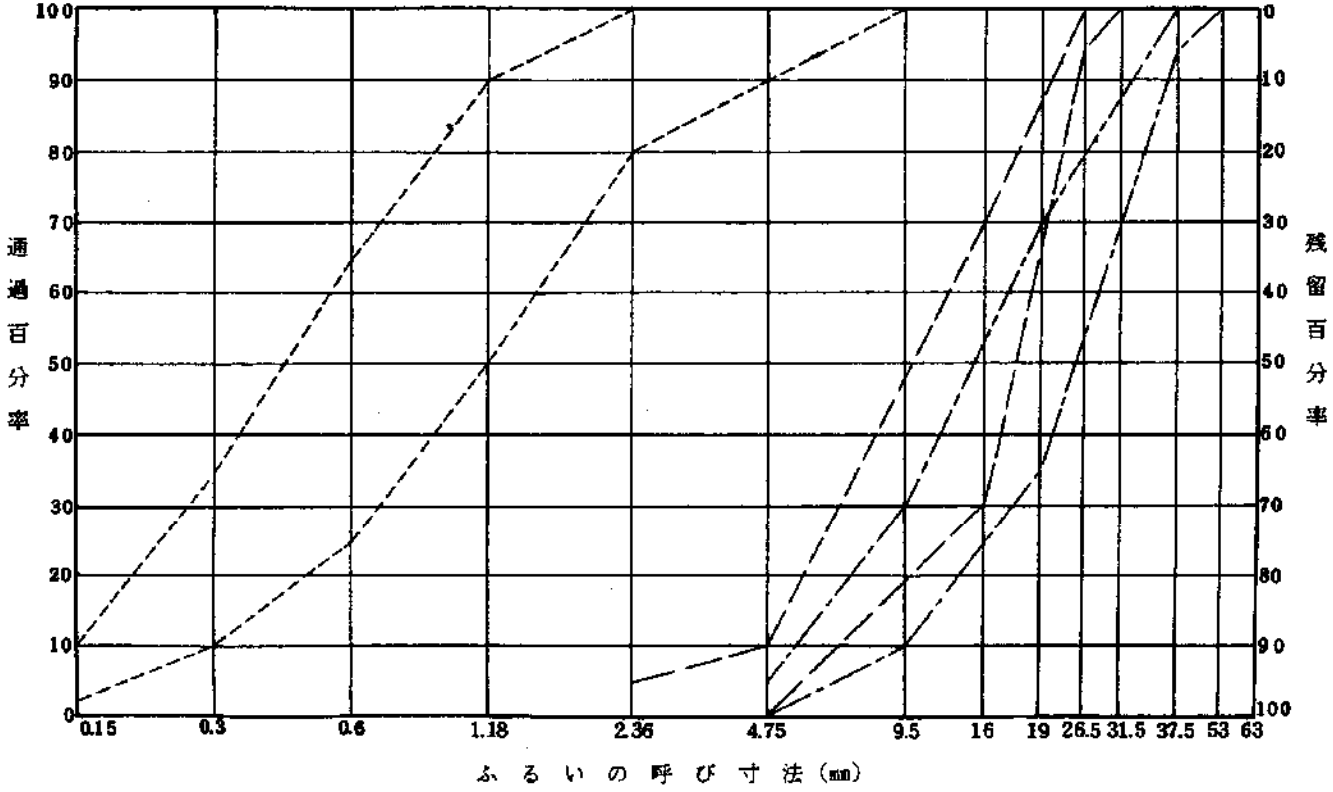
工　事　名
工　　種
プラント名
試料 採取
場　　所
試験年月日
試験場所
測　定　者　　印　　現場代理人

	細　骨　材	粗　骨　材
最大寸法		
産　　地		
比　　重		
吸 水 量		

比重、吸水量は　　年　　月　　日の測定値

細骨材の種類　粗　粒　率				粗骨材の種類　粗　粒　率			
ふるいの呼び寸法 (mm)	ふるい残留質量 (kg)	質量百分率 (%)	累加質量百分率 (%)	ふるいの呼び寸法 (mm)	ふるい残留質量 (kg)	質量百分率 (%)	累加質量百分率 (%)
				63			
				53			
				37.5			・
9.5				31.5			
4.75				26.5			
2.36				19			・
1.18				16			
0.6				9.5			・
0.3				4.75			・
0.15				2.36			・
皿			100	皿			100
計		100		計		100	

粒　度　曲　線


通過百分率
残留百分率
100
90
80
70
60
50
40
30
20
10
0
0.15
0.3
0.6
1.18
2.36
4.75
9.5
16
19
26.5
31.5
37.5
53
63
ふるいの呼び寸法（mm）

様式・品質１２－１

防 舷 材 形 状 管 理 表 （ 例 ）

工 事 名　　型　　式

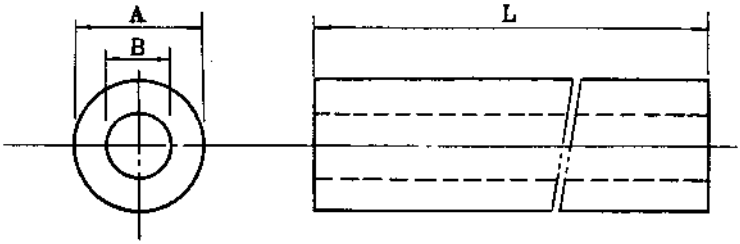
年 月 日　　現場代理人

単位 mm

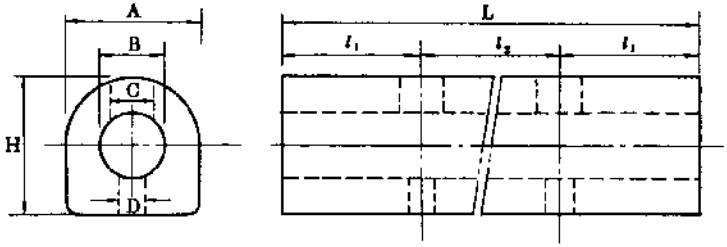
測定箇所		標準寸法	No.	No.	No.	備　　考
長　　さ	L_1					
	L_2					
幅	A					
	B					
高　　さ	H					
ボルト穴径						
ボルト穴の中心間隔	C					
	l_1					
	l_2					
そ の 他						

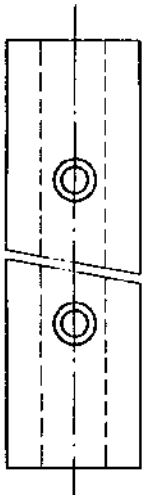
（別紙） 防舷材形状測箇所（例）

1．中空円筒形

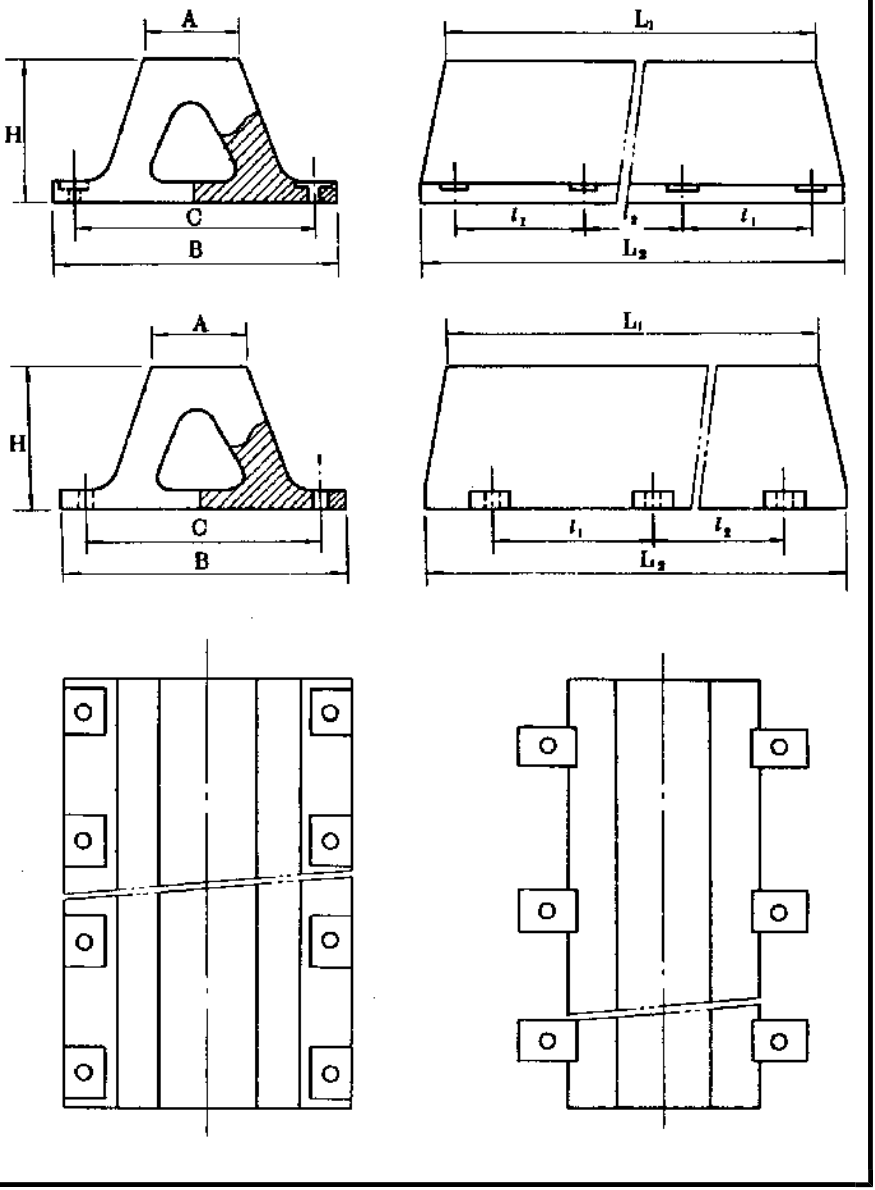


2．D 形

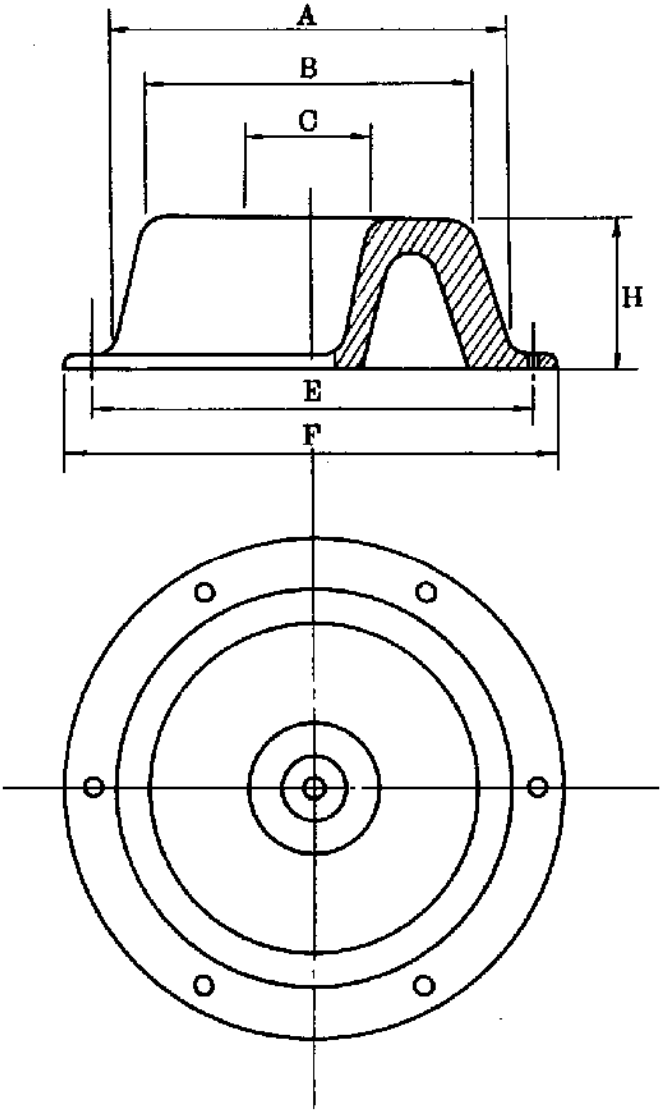




3．V 形



4．サークル形



コンクリート試験成績表（試験練用）

工 事 名　　工　　種

試 験 日　　年　　月　　日　　立 会 者　　㊞

試験場所　　〃　　㊞

1　示方配合表

粗骨材の最大寸法 (mm)	スランプの範囲 (cm)	空気量の範囲 (%)	水セメント比 W／C (%)	細骨材率 s／a (%)

2　現場配合表

ｺﾝｸﾘｰﾄ量 (m^3)	W (kg)	C (kg)	S (kg)	G (kg)
1				

3　試料採取及び養生（JIS A 1115 及び 1132）

採取年月日	
採取場所	
採取時刻	
天候	
気温	
コンクリート温度	
スランプ	
空気量	
養生方法	
養生温度	
材令	

プラント名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

測　定　者＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　㊞

現場代理人＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

単　位　量　(kg／m³)				
水，W	ｾﾒﾝﾄ，C	細骨材，S	粗骨材，G	混和剤(　)

混　和　剤	表　面　水（%）		摘　　要	
(mℓ，g)	S	G		

4　試験成績表（JIS A 1108 又は 1106）

供試体番号	No.	1	2	3	平　均
供試体の直径	cm				
〃　幅	〃				
〃　高さ	〃				
〃　長さ	〃				
〃　スパン	〃				
最大荷重	kN				
圧縮強度	N/mm²				
曲げ強度	〃				
破壊状況					
その他					

コンクリート強度（圧縮／曲げ）管理表

工事名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　工種＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

打設年月日	番号	スランプ (cm)	空気量 (%)	温度 (℃)	試験月日	X_1

設計条件

呼び強度	N/mm^2	標準偏差	N/mm^2
粗骨材の最大寸法	mm	変動係数	%
スランプの範囲	cm～ cm	割増係数	
空気量の範囲	%～ %	配合強度	N/mm^2

X管理

管理限界＝

UCL＝

LCL＝

$\overline{X} = \dfrac{\Sigma X}{N} =$

※ＪＩＳ工場の場合は Rs、Rm、$(X-\bar{X})^2$ 、標準偏差、変動係数、割増係数、配合強

様式・品質１６－２

現場代理人

σ２８			Ｒｓ	Ｒｍ	$(X-\bar{X})^2$	摘　　要
X_2	X_3	平均値Ｘ				

図　　Ｒｓ管理図　　Ｒｍ管理図　　標準偏差 $\sigma \sqrt{\frac{\Sigma (X-\bar{X})^2}{N-1}}$

≡ $X \pm 2.66 Rs$　管理限界＝$3.27 Rs$　管理限界＝$2.57 Rm$ $(n=3)$

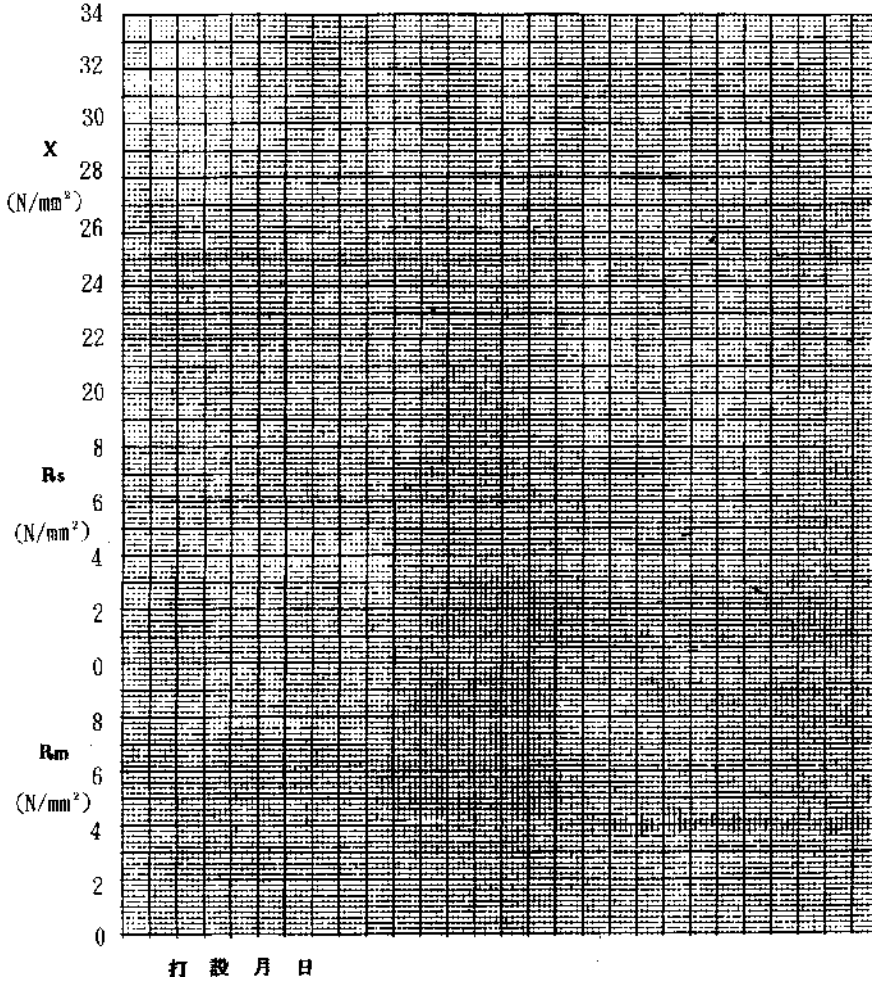
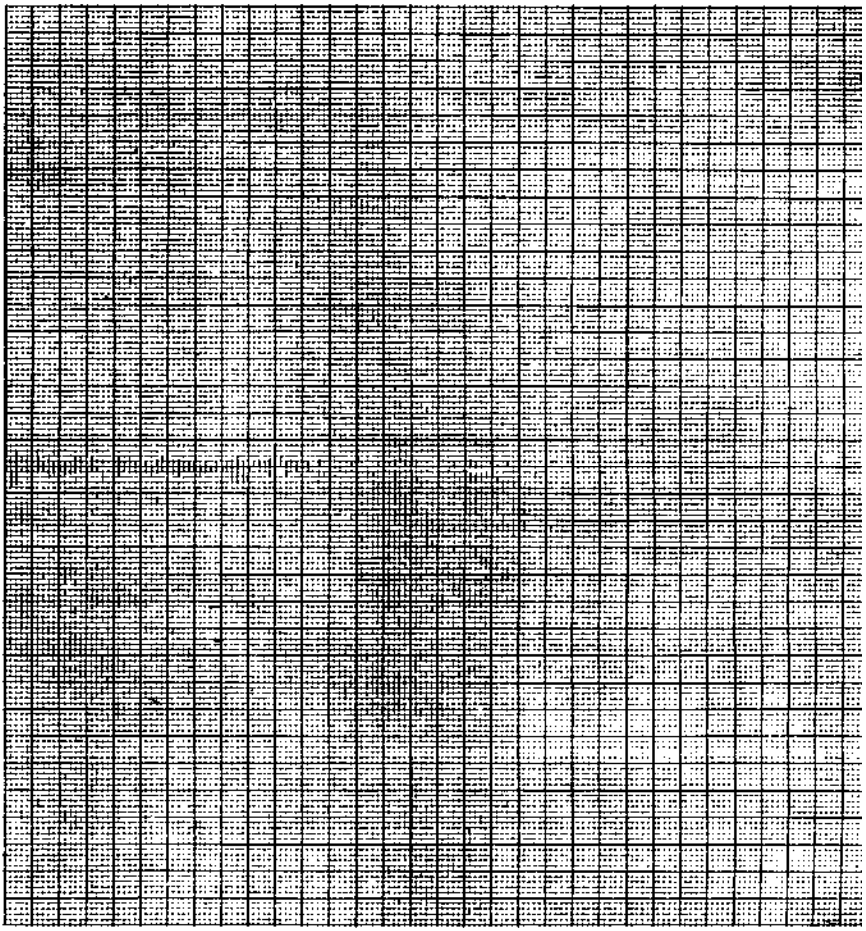
ＵＣＬ＝　　ＵＣＬ＝

$\bar{Rs} = \frac{\Sigma Rs}{N-1} =$　　$\bar{Rm} = \frac{\Sigma Rm}{N} =$　　変動係数Ｖ＝ $\frac{\sigma}{\bar{X}} \times 100 =$

度は不要

コンクリート強度（圧縮）管理図
曲げ

工事名　　工種



現場代理人